

令和4年度 第4回有田工業高等学校 学校運営協議会（学校魅力強化委員会）会議録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第4回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）の会議録等を公表します。

【期 日】 令和4年12月22日（木） 15:00～17:00

【場 所】 佐賀県立有田工業高等学校 会議室

【出席者】 学校運営協議会委員 10名（欠席者4名）

※ 佐賀県教育委員会規則第13号第7条第2項により、委員の過半数の出席により会議の開催は成立する。

本校事務局教職員 13名（欠席者なし）

生徒（生徒会） 8名（各科2名ずつ） ※【第1部】のみ

傍聴者 教育振興課2名、明治大学1名

【会議の内容】 以下のとおり。（全体の司会は、主幹教諭）

1 開 会

（司会・主幹教諭より）

本日は生徒会の生徒（3年生）も参加している。本校の規約第7条4「校長は、会長の許可を得て、その他の職員等を会議に出席させることができる」としており、会議の第1部について、生徒を出席させて意見交換を行いたい。第2部については、教職員のみで開催する。

また、第8条に基づき、会議を公開しており、本日は明治大学の先生も傍聴される。

2 会長挨拶

このところ一気に寒くなったという感じがしている。今年も夏は暑い、甲子園で熱かった。ワールドカップではサッカーも盛り上がっている。今日は生徒との意見交換もあるが、本日もよろしくお願ひしたい。

3 学校長挨拶

本来ならば学校長から挨拶を申し上げるところであるが、本日は学校長が急遽欠席となったため、ご迷惑をおかけするが、本日もよろしくお願ひしたい。（教頭より）

4 協議事項（【第1部】生徒参加は主幹教諭が進行を行い、【第2部】は会長が議長となる）

【第1部】 生徒との意見交換

（主幹教諭）本来ならば、規約第7条に基づき、会長が議長となるが、第1部については、生徒の緊張をやわらげて発言しやすいように、学校側の私（主幹教諭）のほうで進行をしたい。第2部については、会長に議長をお願いしたい。本日は、これだけ多くの大人がいるなかで生徒会の3年生の生徒に各学科2名の計8名に参加してもらっている。緊張していると思うので、温かい目でお願ひしたい。それではまず、生徒8名から自

己紹介をさせていただく。(自己紹介では各自で、氏名、出身中学校、部活動、卒業後の進路などを話す)。次に、委員の皆様からも生徒に自己紹介をお願いしたい。(お名前やご所属、簡単に一言メッセージなどをいただいた)。それでは、今回は委員の皆様から生徒達に聞いてみたいことがあるということで、生徒達に集まってもらったので、何か質問等があればお願いしたい。

(委員 1) 3 年生ということなので、「有工の魅力というのを一言で」と聞かれたら、どのように答えるか？

(生徒①) 自分好みの作品を作れること。

(生徒②) 専門的なことを深く学ぶことができること。

(生徒③) 資格をたくさん取れるところ。また就職率もいいので、とてもいい学校だと思う。

(生徒④) 資格取得をたくさんできること。

(委員 1) 皆さんが高校卒業後は、進学とか就職とかいろいろあると思うが、他の地域で、または友達から有工の魅力を聞かれたときに、堂々とその魅力を伝えてもらうことを期待しているのを聞いてみた。

(委員 2) 有田のエリアで、行動範囲はどの辺りまでなのか。ここまで行ったら遠いとか、ここまでは行きたくないとか、有田を全体的にどういう風に見ているのかを知りたい。役場までは行ったことがないとか、公共交通機関とか乗ったことがあるのかとか。学校も部活動とかあれば忙しいので、学校と家との往復だけなのかもしれないが、どういうお店に寄っているとか生活パターンがあれば教えてもらえたらと思う。

(生徒⑤) 波佐見中出身で長崎県なので、学校と駅の往復で、有田駅くらいしか行ったことがない。

(生徒④) 伊万里出身なので、学校に来る以外、有田で遊ぶことはない。

(生徒⑥) 有田に引っ越して 1 年くらいになる。平日は学校だが、休みの日は外に出て自転車であちこちしている。有田に 1 年住んでみて、有田は意外とカフェが多いと思った。お洒落なお店も多いと思った。自転車で、有田ダムまでは行きたくないなと思った。

(生徒③) 有田に住んでいるが、有田にはおいしい飲食店が多いと思った。学校が早く終わった時は友達とラーメン屋に行ったりする。

(生徒⑦) 有田に約 15 年住んでいる。交通機関があまりないので、親の車で行くことが多い。飲食店やお店は多いと思うがあまり行かない。有田は活性化しようと、行事やイベントは定期的に開催されるので、そういう時は行くようにしている。

(生徒②) 普段は帰りが遅いときが多いので、駅と学校の行き来くらい。今年の有田陶器市の時に友達と歩きまわった。お店がある範囲がギュっとしてお店が集中しているので、伊万里の町とは違った造りで面白いと思った。

(生徒⑧) 有田駅と学校の行き来が基本で、帰りにカフェを見て行きたいなと思うことがあるが、行っていない。

(生徒①) 伊万里に住んでいるので有田で何かをすることは無いが、学校の帰りにお店に寄ったりしてみたい。

(委員 3) 就職や進学のとときに面接試験を受けたと思うが、大学入試でも「高校 3 年間の学びは何ですか?」といった質問をすることがある。私は普通科の出身なのでよくわからないので、皆さんが有田工業のそれぞれの学科で身につけたことを教えてほしい。例えば、溶接ができるようになったとか、そういうことを聞きたい。

- (生徒①) セラミック科なので、お皿を作ったり絵付けをしたりする技術が身についた。
- (生徒⑧) セラミック科では色々な技法で作品が作れたり、絵付けもできたりするので、デザイン力も発想力も身についたと思う。
- (委員3) 技法って、どんな技法か言ってみてほしい。
- (生徒⑧) 紐状にして作る手練り、板にしてそれを組み立てて作る板づくり、鑄込みとかで量産できるものを作ったりできる。
- (委員2) いろいろやるんだね。
- (生徒②) 1年生の時は平面でのデザインの構成を中心に考えて、製図道具を使ってデザインを考えたりすることが身についた。2年生からは表現の幅を広げるために、自分が使いたいデジタルや手書きなど、いろいろな道具を使ってアイデアとかを考える力が身について、3年生ではビジュアルコースと陶磁器コースに分かれるが、私はデザイン科の陶磁器コースで立体のやきものを作った。デザインからアートの考えで作品を作っていて、デザインのなかでも自分の得意なものを学んだ。
- (生徒⑦) デザイン科ではクライアントさんから依頼されたものを実際に作る実践的なことが多かった。普通科の高校では経験できないことなのかなと思っている。
- (生徒③) 有工では普通高校と違って、実習とか専門的な授業がある。電気をつけるために、設置からコンセントや、電球につなげる配線をしたり、他にも専門的なことを学べる。
- (生徒⑥) 電気科でアピールできることは資格取得。国家資格の電気工事やシーケンスを持っている。それから課題研究。人工衛星のミッションボードを作った。九州工業大学に3日間行き、普通では体験できない経験をすることができた。
- (生徒④) 機械科なので、溶接や旋盤などができる。課題研究ではスリッパ立てを作ったりした。
- (生徒⑤) 機械科では、設計や製図、実習では溶接や旋盤などが身についた。工業高校では溶接や旋盤などを競い合うものづくりコンテストがあり、出場して技術力を高められることも魅力だと思う。
- (主幹教諭) 生徒の皆さんには、有田の魅力や有田工業の魅力など、この学校でしか学べないことについて話してもらった。「地域みらい留学」で有田工業高校に来た場合も、この土地ならではの地域住民とのつながりとか、自然環境を生かして教育活動を行っていくということになるが、そのことにからめて何か委員の方から質問はないか？なければ私からの質問になるが、生徒の皆さんが中学3年生だとして、先ほど話してくれたような学びができる有田工業高校に行きたいと思った時に、県外からだど覚悟がいると思うが、県外に出ることについて自分や親が不安に思うことがあれば教えてほしい。では、手が挙がった生徒⑤からお願いしたい。
- (生徒⑤) 自分は波佐見出身で長崎県に住んでいるので、佐賀県の高校に行くのは怖いなあと思った。佐賀県の人たちとの関わりとかがあまりなかったので、どういう人たちがいるとか、方言とかで馬鹿にされないかなあとかが結構あって、でも友達とかも有工に行くことになって、自分もノリで入ってみたが、入ってみたら多少の方言の違いはあるけど、みんな仲が良くて楽しい学校でよかったと思う。
- (主幹教諭) 方言の違いですね。佐賀県の入試情報とか受検対策などについて、長崎県の中学校ではどうだったか？
- (生徒⑤) あまり覚えていないが、佐賀県の過去問題を解いたことは覚えている。佐賀県の中学生

は佐賀テストというのを受けているようだが、長崎県の中学生はそのようなものが特にないので、対策しづらい面もあったが、頑張れば入れる学校なので、県外から受検を考えている人も頑張っしてほしいと思う。

(生徒⑥) 自分は8人の中で一番遠いと思う。家の用事で、祖母の実家の有田に来た。一番不安だったことは、有工の情報が少なかったこと。パンフレットもなく進路の先生に聞いたから「佐賀」という情報だけで、情報がなかったことが一番不安で、市役所に行って聞いたりもした。方言も少し不安だった。入学してからみんな「がばい」「がばい」というけど意味が分からなかった。

(主幹教諭) では逆に、高校卒業後に佐賀を離れて一人暮らしをする人は、期待のほうが大きいのか、何か不安なこともあると思うが、誰か話せる人はいるか。

(生徒⑦) 来年度から新潟県に行くけど、タイムリーに雪がすごく降っていて、季節の変化とかは遠くから来る人にとっては不安もある。気候の変化とか環境の変化とか、そこに応じた生活の仕方とかがあるので、一人暮らしをするときに不安でもある。

(主幹教諭) その土地の気候に応じた暮らし方ですね。委員の方から何か質問はないか。

(委員4) 私が高校の時、隣の高校には学食があって、うらやましかった。もし、有工にこれがあったら、もうちょっとよかったとか、いま足りないと思っていることなどがあったら教えてほしい。

(生徒⑤) はい。自分は生徒会長をしていて、生徒会長としての意見は、生徒会室を大きくしてほしい。狭くて、物がたくさんある状態なので、新しい生徒会室がほしい。

(生徒⑥) 体育館に雨漏りがある。体育の時に思い切り滑ったことがある。あと、ちょこちょこ壊れているところがある。120年の歴史は感じられるが、今いる生徒にとっては直してほしいと思う。

(委員4) 有工の外を通ることがよくある。同窓会館の辺りの道路のゴミは私もよく拾っているが、ネットの向こう側の有工の敷地内は拾えない。ゴミがいっぱいたまっている時がある。バケツが落ちている時もある。これはイメージダウンになって損をしているのではないかと思いながら通っている。

(主幹教諭) 貴重なご意見をいただいた。生徒⑥の意見に関連して、学校評価の自由記述でも、生徒から施設面に関して「トイレを改装してほしい」という意見もあった。「地域みらい留学」で県外から中学生も校舎見学をするので、そのような意見があったこともあわせて紹介したい。

(委員5) 昨日、車で通っていたら、皆さんが袋を持ってゴミ拾いをしているのを見かけた。あれは、生徒会でしているのか？

(生徒⑤) はい。生徒会と各クラスの風紀委員とボランティアの人で、セブンイレブン周辺や有田駅などに分かれて清掃活動を行った。

(委員5) 町のなかを歩いた時に何か気づかれたことはあるか？ここら辺は汚いとか、町の雰囲気とか、町の人からありがたうと言われたことはあるか？

(生徒⑤) 自転車で通学しているが、帰りがこの時間くらいであるが、よくすれ違うおばあさんから「おかえり」とよく言われたり、元気なおじいさんからは「気をつけて帰れよ」とか温かい声をかけてもらっている。

(委員5) 有田駅がけっこう無人駅になっているが、そのことについてはどう思うか？

- (生徒②) 改札に人がいないことをあまり気にしたことはない。定期券購入の時とかは困るけど。伊万里駅を降りると、もはや改札とかもなく、そのまま外へ出るという感じなので。また、伊万里駅までの途中の駅も全部、無人駅なので。大きい駅以外は無人駅が多い。友達が、電車の時刻表が渡されないのが困ると言っていた。
- (委員 6) これから皆さんがいろんな場所に行って、九州以外の友達ができるときに、九州に遊びに行きたいと言ってきたら、西九州エリアではどちらに連れていきたいか？
- (生徒⑥) 自分は長崎県出身で、中学生の時から一人でぶらぶらするのが好きだった。長崎市内の眼鏡橋あたりには美味しいお店がたくさんあるので、全力で勧めたい。
- (生徒⑧) 私は武雄に住んでいるので、御船山楽園を紹介したい。あと、物産館のソフトクリームが美味しい。武雄は歩いて回れるのでお勧めできる。
- (委員 6) では、有田でここを案内したいというところがあれば聞きたい。
- (生徒⑦) 有田はイベントが季節ごとにあっているイメージで、先日私もうちやま百貨店に行った。うちやま百貨店はターゲットを若者目線で作られているイメージがあって、ここは高校生が行っても楽しめる行事だったと思った。
- (委員 6) 観光協会として、皆さんが友達を案内できる場所とか企画を実施していきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。
- (委員 3) 「有田工業高校って、あの有田焼の町の有田？」と聞かれた時に、どのように説明するのか、聞かせてほしい。
- (生徒⑤) 有田の方々には申し訳ないが、特に言うことがないので、「そうだよ。有田の町にある工業高校だよ。陶器の町だよ」と言う。
- (生徒④) 僕も同じで、同じ返し方をする。
- (生徒⑥) オウム返しになるが、笑顔で「有田焼のだよ」と言う。あと「甲子園に行った学校」と言う。
- (生徒③) 18年間西有田に住んでいるが、自慢できることがないと思っているので、頷きながらやり過ごした。
- (生徒⑦) 「有田焼の有田です」と答える。佐賀県というよりは有田と言ったほうが意外と通用したりする。有田焼は全国的に知名度が高くて、有田に住んでいると当たり前すぎて知らないことだったり、有田焼が身近すぎていると思う。
- (委員 3) 家庭には有田焼が眠っていたりする。何もないと言われると寂しい気がするが、有田に住んでいる人と、有田に通っている人の違いなのかもしれない。
- (生徒②) 面接の時に有工の話をしたら「有田焼の？」と聞かれた。「出身は有田？」と聞かれて「伊万里です」と答えた。面接官の方と、有田焼と伊万里焼と波佐見焼の話をして、陶器市の話もした。県内の方よりも県外の方のほうが焼き物に興味があって関心が高いと感じた。
- (委員 3) そういう地元の話ができるということは、しっかりと地元で活動してきたというふうに大学の面接でも捉えるので、よかった。
- (生徒⑧) 「有田って有田焼の？」と聞かれたら「そうだよ」と答える。飲食店では有田焼を使って提供してくれるお店とかもあるので、身近に有田焼を感じられると思っている。
- (生徒①) 私もみんなと同じで「有田工業は、有田焼の町だよ」と答える。
- (委員 1) 今回の1つのテーマとして「地域みらい留学」があるが、皆さんも卒業して自分が住ん

でいる以外のところに行くのは相当不安もあると思う。「地域みらい留学」に関して考えると、今の中学3年生が親元を離れて、全然違う土地に行って暮らしていきながら、高校に通うことになる。いろいろな不安があると思うが、資料を見ると下宿アパートの一覧があって、その中に〇〇さん（生徒⑦）のところがある。「地域みらい留学」ではないが、これまで県外から有田工業高校に来た生徒と触れ合った機会があると聞いているが、もしよければ、どうだったか少し話してほしい。

（生徒⑦）私の家は有工の近くにあつて、親の繋がりとかもあつて、去年までの3年間、自分の家が下宿先になっていた。下宿していた方は1つ上の先輩になるが、〇〇県から来た全く知らない人が家にいるというような感じだったけど、下宿することによってシェアハウスに住んでいるような感じで、本当に楽しかった。人と関われることはコミュニケーション力が身に付くし、貴重な経験になる。「地域みらい留学」に近いところにいる立場として、「地域みらい留学」は楽しい企画だと思っている。〇〇さんはセラミック科を卒業して、他県にいる。卒業後も連絡は取れるので、また最近の有工のことも聞かれるので、交流を続けている。

（主幹教諭）それでは約1時間、生徒の皆さん、有り難うございました（拍手）。ここで第1部を終了し、生徒は退場する。引き続き、第2部に移る。

5 協議・報告事項（進行：会長）

【第2部】教職員のみ

（1）卒業作品展・課題研究発表会【全日制・定時制】

- ・1月17日（火）から22日（日）までの6日間、九州陶磁文化館で開催する。本年度は、第54回卒業制作展となる。卒業学年の「課題研究」で取り組んだ研究成果や作品など、全日制・定時制・聴講生の制作物を展示する。全日制的各科の課題研究発表会については19日（木）と20日（金）に、デザイン科とセラミック科は佐賀大学有田キャンパスで、電気科と機械科は本校で行う。（P.6）（工務・情報部主任より）
- ・セラミック科と陶磁器コースの生徒の研究物や作品を展示する。陶磁器コースは、セラミック科10名とデザイン科の陶磁器コース選択10名の計20名が、3年次の実習の時間10時間を使って、課題研究や卒業制作展に向けた作品制作等を行う。デザイン科の生徒もユニークな発想力があるので魅力ある作品を作っている。（P.7）（セラミック科主任より）
- ・デザイン科のビジュアルコース選択の29名が、デザインを基礎から学び、社会との「つながり」をテーマに、チームで行ったり、個人で行ったりして、課題研究に取り組んでいる。いろいろな方と世代をこえて協働しながら、生徒達にはデザインが何に役に立つのかということを研究テーマに掲げて取り組んでもらっている（P.8）（デザイン科主任より）
- ・電気科では、6つの班に分かれている。研究テーマは、プロジェクトマップ、サッカーロボットの制作（ロボットは有線でコントロール）、ビーコロの製作（ピタゴラスイッチの大掛かりなイメージのもの）、マイコンの研究（ライントレース、マイコンを搭載したカーなどの制作）、ソーラークッカー（太陽熱を利用した器具を作るなど）、人工衛星の製作（令和6年の夏の打ち上げをめざしている）などについて展示している。（P.9）（電気科より）
- ・機械科では、6つの班に分かれて取り組んでいる。原動機付自転車のレストア（動いてないものをばらして、部品を磨き、生まれ変わらせる。再生する）、UFOキャッチャーの制作（近隣

の小中学生も楽しめるもの)、鑄造による表札作り、3DCADの研究、水槽(大掛かりなもの、昨年度から川の水をきれいにする)、Raspberry Pi(シングルボードコンピュータ)を用いたAI顔認証技術の研究など、機械科であるが幅広い内容の研究を行っている(P.10)(機械科主任より)

- ・定時制では、2月3日(金)に全生徒が集まって、課題研究履修者の発表会を実施する。(P.11)定時制の生徒も、「伊万里なし」のポスターや立体工芸の陶芸作品で入賞するなど頑張っている。また、卒業制作展を1月20日(金)に見学に行く。(P.11)(定時制教務主任より)
- (会長) 委員から質問はないか? 卒業制作展は6日間の日程で開催されるので委員の方もご覧いただければと思う。

(2) 地域に関する取組について【全日制】 (SCS担当・主幹教諭より説明)

- ・「地域学習の日」の紹介について(P.12-14)

総務部からの資料を説明する。1,2年生が3月中旬に実施している。各学年のテーマがあり、各クラスで討議をして、クラスごとにコースを設定する。昨年度は計画をしたが、コロナ感染拡大に伴い、中止となった。一昨年の各クラスのコース一覧(P.13)および過去の訪問先リスト(P.14)を参考までに載せている。資料を見られて、委員の皆様から他にお勧めの場所などがあれば反映したいので、ご意見をいただきたい。それらを踏まえて、1月の運営委員会で総務部より提案する。
- ・「有工ふるさと検定」の紹介(P.15)

図書部からの資料を説明する。3年生を対象に平成19年度から実施しており、今年は第16回となる。佐賀県や生徒が一定数在籍している市・町に関する問題、本校や有田焼に関する問題等を出題している。問題については、3年生の生徒や職員が関わり、毎年度、問題の一部を差し替えている。昨年度のものを回覧させていただいているが、委員の皆様からも問題を募集して反映できればということで、何かあれば今月中に別紙にてお知らせいただきたい。
- ・定時制新聞部の取組の紹介(P.16-17)

観光列車が上有田駅に停車することになった。定時制の開校記念行事で、窯元の代表の〇〇さんが有田の地域活性化のために行っていることを講演して頂いたことがきっかけで、上有田駅に取材に来ないかというお誘いを受けて行った。定時制の生徒も地域に関わりながら活動していることの紹介である。

【質疑応答】

(会長) 委員から質問はないか。

(委員6) 「地域学習の日」の過去の見学先で、有田館があるが、からくり人形は現在壊れていて動かない状況であるが、それでも訪問先として大丈夫か。

(委員2) 一覧にある有田陶磁の里プラザ有田館は、現在はアリタセラに変わっている。

(委員3) 現在の訪問先候補でなければ問題ないと思う。

(主幹教諭) 資料は過去の見学・訪問先一覧なので、現在ないものも載っているが、生徒に紹介する際には現在のものに整理をして作成するように、担当部に伝えたいと思う。このほかに追加のものがあれば、それも加えて紹介したい。

(会長) 何か質問はないか。また、ここを追加してほしいとかもあればお願いしたい。

(委員 3) 検定って合格証がセットになっているイメージだが、有工ふるさと検定はどうか。

(教務主任) 合格証を発行している。

(委員 4) 有田町では、小学校では「有田キッズ検定」が実施されている。

(委員 7) 先ほど高校生から、「有田にはおしゃれなカフェがある」という話が出たので、興味がある生徒も多いのではないかと思った。移住者の方が運営しているカフェもあり、うちやま地区のおしゃれなカフェとかショップを紹介して、そこの店主の方の話を聞くとか、そういうことが「地域学習の日」にできたらと思う。

(委員 6) 訪問先として有田焼に関係したところが多いが、西有田のほうの自然を見るというところがない。黒髪山とか、美しい自然もたくさんあるので、季節的な問題なのかもしれないがどうか。

(主幹教諭) クラスごとに歩いて行き、9 時頃に出発して 14 時すぎには学校にもどるということで計画しているので、距離的な問題でこのように近場のところになっているようである。

(3) 資料について

- ・資格・検定の取得状況【工務・情報部】(P.18) (工務・情報部主任より)
過去 3 年分を載せている。今年度の分は途中経過となる。国家資格や各種検定に取り組んである。電気主任技術者三種に十数年ぶりに合格者が出た。
- ・3 年生の就職・進学状況【進路指導部】(P.19-20) (進路指導主事より)
今年度の 3 年生の進路希望について、就職については 12 月現在で就職内定率は 100%で全員内定した(委員からは拍手)。進学については 7 名が結果待ちやこれから受験である。求人数は、今年度夏の段階で昨年度の求人数を超えた。
- ・自転車マナーアップ指定校の取組、制服マイナーチェンジの紹介【生徒指導部】(P.21)
本年度、「自転車マナーアップモデル校」の指定を受け、プロのスタントマンによる交通事故再現(スケアードストレート)を実施した。制服のマイナーチェンジについては、生徒アンケートや制服検討委員会などを行い、令和 5 年度採用に向けて検討を行った。
- ・3 学期の行事予定【教務部】(P.22) (教務主任より)
全日制の 3 学期の行事予定について、卒業制作展、課題研究発表会、同窓会入会式、卒業証書授与式(全定合同)、伊万里の“いい職”説明会(2 年生)、県内企業紹介会(1・2 年生)事業紹介などの日程を紹介する。

(4) その他

- ・教職員の任用に関する意見等
(教 頭) 教職員の任用に関して、今年度は、主幹教諭が加配になったというところでの「SAGA コラボレーション・スクール重点校」となっている。「地域みらい留学」に関しては昨年度から定数内で仕事をしているので、主幹教諭もサポートをしている状況である。本来であれば、学校長が説明をして、学校運営協議会の委員の皆様からご意見をいただいて、教育委員会にその旨を伝えていくということになるかと思う。本日は学校長が欠席のため、何か意見をお持ちの委員の方がいらっしゃれば、学校長に直接お話しして頂ければと思う。

【質疑応答】

(会 長) 加配による教員の増員もあると思うが、それ以外にコーディネーターの配置に関しては、現状はどうなっているのか。

(主幹教諭) コーディネーターに関しては、1学期に3回、オンラインでの全国募集説明会に参加し、興味があると回答した参加者に個別 Zoom で説明して対応してきたが、学生や定職についている人がほとんどであった。そのほか、「広報紙ありた」に求人募集を掲載してもらったり、「ARIKO コミュニティ・スクール通信」でもコーディネーター募集のお知らせを何度か掲載したりしている。また、9月に伊万里のハローワークに求人を出したが応募がなく、11月末に求人者の延長の連絡をしているが、現在のところまだ見つかっていない。12月にオンラインでの全国募集説明会に教育振興課の方に参加していただいた。その後、3名に個別 Zoom の案内をして、1名は定職に就いている人、2名は返信がなかったため、現在のところ、現時点では見込みがないという状況である。

(会 長) ということは、その分の業務について、主幹教諭の業務加担になりつつあるということで、今後、コラボレーション・スクールのなかで議論を重ねて行っても実働としてどう動かしていくかというのは喫緊の課題で、来年度に向けても重要な課題であると思う。先ほどの教職員の任用に関して、この協議会の中でどこまで実効性があるのかということ、先に情報としてどのような形で具体的にどのような形で進めていけばよいか、もう少し聞かせてほしい。

(主幹教諭) 本年度から学校運営協議会が設置されたが、地教行法に基づく制度で、3つの機能をもつ。校長が作成した基本方針を承認するということが、学校運営に関して校長や教育委員会に意見を述べるができるということ、教職員の任用に関して教育委員会規則に従って教育委員会に意見を述べるができる、となっている。ただし、特定の個人の任用に関する意見ではなく、校長が説明した学校運営の基本方針を実現するためにこういったスキルの教員を配属してほしいとか、全体的な運営に対して意見を述べるができるということで、学校長が委員の意見を集約して、学校長のほうから教育委員会に報告をするといった流れになるのではないと思う。

(会 長) そのうえで、今回のコーディネーターを配置するということが先に決められていたと思うが、コーディネーターに来ていただいているから何とかしてほしい、加配をお願いしたいという理由づけになっていくか。

(主幹教諭) そこは難しいところかと思うが、「地域みらい留学」に参画しているのは、現在は本校だけで、「SAGA コラボレーション・スクール」の重点校4校に対してコーディネーターを配置するというようになっていて、他の3校については配置がされたところである。本校の場合は、「SAGA コラボレーション・スクール」重点校に係る業務のほかに、さらに「地域みらい留学」制度による全国募集があつて、毎月週末ごとにオンラインで説明会をしたりとか、オープンスクールをしたりとか、そういった業務もあるので、他校の3校よりかなり業務は多いと認識している。

(委員4) このコラボレーション・スクールで、地元の中学校との連携で有工の力を借りたいということで、いろいろ要望を出した。現在、デザイン科のほうで展示をしてもらって作品を並べているが、生徒も非常によく見ているし、ちょうど三者面談の期間中で、親子で

じっくり見ていた。写真のような絵は見たことがないとか。せつかく学校が近くにあっても、今まで触れる機会がなかったということを口で要望してもそのまま検討しきらずで終わることも多いが、今回は形にしてもらって非常によかった。今後も、デザイン科の先生に美術部に来てもらうことも形にしてもらうことになっていて、コーディネーター募集はうまくいっていないけれど、当初要望していたことを形にしてもらえたことは非常に有り難かった。

(主幹教諭) 本日配布の「ARIKO コミュニティ・スクール通信」でも、中学校での作品展示の様子を載せている。今週、デザイン科の職員から美術部に出向くということも聞いているが、このような取組も、この学校運営協議会を通してご意見をいただいたからこそ実現できたことではないかと思ひ、有り難く感じている。

(会 長) それでは、先ほど委員2からの意見をもう一度お願いしたい。

(委員2) 学校の施設に関しては、何かしら学校運営協議会でも取りあげて、施設がどのように活用されているかなどのお話をしてほしい。実際に波佐見のほうでは、宿舎を作らなければいけないというような議題もあがっているようだ。佐賀県のほうでは、他県から人(生徒)を呼び寄せる形になっているが、受け皿としてはまだまだ民営のほうに頼っている。みんな一体となって、進めていく必要がある。「地域みらい留学」をするにあたって、お互いに要求するだけでなく協力することが大切。学校運営協議会から見て、この施設は使えないだろうかとか、そういうことを打診しながら、県外から来る子たちに安心感とか、設備を整えるということもできるのではないかという要望というか希望をもって提案したい。

(事務長) 国道沿いにあるのは本校の同窓会館で、本校の敷地内にあるように見えるが、同窓会の敷地である。そこを今使っているのは、吹奏楽部が練習で使っていて、委員2さんの話では、そこを寮にしたらどうかということではないかと思うが、現状は一人暮らしとかができるような施設ではない。ここ2年を見ても合宿なども1回くらいしかあっていない。現状は宿泊とかができるような施設にはなっていないので、お金があつて改修とかをすればいいのかもしれないが、同窓会の所有なので、同窓会の承認も必要になる。バケツ等のゴミがあるものについてはすぐにでも対応したい。

(委員8) 「地域みらい留学」で県外から来られて暮らしていかれるにあたり、宿舎の問題で、今回用意している部屋数も、令和5年度から来ていただいて部屋が埋まっていくと、今後、十分な状況ではないと心配されてくることもあると思う。佐賀県の県立学校なので、県のほうも、有田町も含めて検討していかなければならない。現在は、民間の皆様のご協力もあっているが、今後は町で管理している建物のなかで、まだ具体的にはわからないが、対応していかなければならない。

(教育振興課) 有田町の皆様には「地域みらい留学」についてはご協力いただいて感謝申し上げます。県のほうで検討となると、特定の高校にのみというのはなかなか厳しいように思う。そのために有田町のお力を借りながら不安なく過ごせるように、有田町のご協力と、県のほうでもやれることをしていきたいので、ご協力をお願いしたい。

(委員2) ない施設は使えないというのはわかっているので、この話はいったんここまでにして、では、あるけれども柔軟に使うことはできないだろうか、こういう理由でダメだということを知りたいことがある。住むにあたって、衣食住の中で一番大事なのは食で、高校

生に自炊を強いるというのは不安もあって、住まいを提供したとしても健康面とかが心配になる。前回の学校運営協議会のあとに、学校体験で給食を体験させていただいた。非常にバランスよく、おいしい食事だったが、これは定時制用なので、普通の(全日制の)高校生には食べさせられないというようなルールがあるらしいが、あと時間帯の問題とか。そこを少し柔軟に対応できれば、せつかく有工には定時制があって、食堂があって、だけど食べられないということで、一人暮らしの子に食堂を開放するような改定とか、何かそのような対応も検討して頂ければと考えたところである。あともう一つは、高校生のアルバイトについて、陶器市の時にはアルバイトを許可されているが、町づくりといったときに、例えば、焼き物に関することとか限定して土日とかにインターンシップに近い形ですること、平日は駅と学校の往復だけかもしれないが、土日に有田町を見てもらうことにつながる。地域みらい留学も、県外から来たまではいいが生活にはお金がかかるので、彼らにそういう機会を与えて体験してもらいつつ、地元の人も仲良くなり、さらに食費なども自分で賄うなど、いろいろな絡みからすると、高校生のアルバイトについてもどのような理由でダメなのかということも何らかの機会に議論してもらえればと思う。よろしく願いたい。

(会長) 最近は制服の問題とかもあるが、ルールを考えていこうというルールデザインというものがあるが、決まった枠の中でしか考えられないという、大人は特にそうかもしれないが、今回来る「地域みらい留学」の子は相当なストレスや不安もあるわけで、そこに関して今の制度とかルールをあてはめると無理がでてくるという話だと思う。県のほうでも「地域みらい留学」を依頼されて一緒にやっていくというのであれば、そこも踏まえた形でルールデザインをし直していくというか、規定そのものから一部緩和していくとかをお願いしたいと思う。

まだ、発言をされていない委員さんから何かないか。

(委員9) 他県から来るのはもちろん来てほしいが、焼き物やデザインをしたくて来るのか、何か他の理由で来るのか、県としてなぜこのようなことをしているのかという原点をもう一度考えないと、現場が空回りするということか、本当の目的で有田まで来て学びたいからという流れをしっかりと作らないといけない。難しい問題であるが、皆さんで議論して受け入れる体制を作るのがいいと思った。

(会長) 配布資料および諸連絡について、願いたい。

(主幹教諭) ARIKO コミュニティ・スクール通信、明後日の「さがを誇りに思う教育講演会」、第2回進路希望調査について紹介する。

諸連絡について、第5回学校運営協議会を2月14日に開催する。

6 諸連絡

- ・次回、第5回会議は2月14日(火)に開催予定。第6回は3月に開催予定。

7 閉会

◎ 配布資料について

【会議資料目次】

- ・地域みらい留学の現状報告【全日制】 P.4
生徒との意見交換メモ P.5
- ・第54回卒業制作展 および 課題研究発表会の紹介【全日制】 P.6
- ・各学科の課題研究テーマの紹介【全日制】 P.7-10
- ・課題研究発表会の紹介【定時制】 P.11
- ・第29回「地域学習の日」実施要項【全日制】 P.12-14
- ・令和4年度「有工ふるさと検定」【全日制】 P.15
- ・定時制新聞部の取組の紹介【定時制】 P.16-17
- ・資格・検定試験の結果【全日制】 P.18
- ・3年生の就職・進学状況【進路指導部】 P.19-20
- ・自転車マナーアップ指定校の取組、制服マイナーチェンジの紹介【生徒指導部】 P.21
- ・3学期の行事予定【教務部】 P.22

【その他の資料】

- ・ARIKO コミュニティ・スクール通信（第8号）
- ・「さがを誇りに思う教育講演会」の案内
- ・第2回進路希望調査

【委員】（敬称略：五十音順）

- 岩井 章（有田観光協会 専務理事）
- 岩楯愛久美（本校デザイン科卒業生）
- 小嶋 貴之（有田町立有田中学校 校長）
- 佐々木元康（特定非営利活動法人 灯す屋 代表理事）
- 竹田 英司（長崎県立大学 地域創造学部実践経済学科 准教授）
- 土井 輝（有田町まちづくり課 副課長）
- 徳永 隆信（徳永陶磁器株式会社（幸楽窯）代表取締役、有田ロータリークラブ会員）
- 中野 星次（佐賀新聞社メディア局次長兼コンテンツ部長）
- 中村 隆敏（佐賀大学 芸術地域デザイン学部 教授）
- 西山美穂子（キッチングランマ 代表、地域住民）
- 原田 好和（（有）アトラス 代表取締役、同窓会副会長）
- 深川 祐次（株式会社香蘭社 代表取締役社長、有田町商工会議所 会頭）
- 安元 孝史（全日制 PTA 会長）
- 山崎 哲也（佐賀県立有田工業高等学校 校長）

【事務局】

- 馬場 光弘 (全日制 教頭)
- 吉田 芳克 (定時制 教頭)
- 橋本 剛 (事務長)
- 中西 美香 (主幹教諭、SAGA コラボレーション・スクール担当)
- 原 慎一 (教務主任 (全日制))
- 野田 和弘 (教務主任 (定時制))
- 池上千代香 (進路指導主事 (全日制))
- 澤山 大亮 (セラミック科主任 (全日制))
- 森永 昌樹 (デザイン科主任 (全日制))
- 吉武 吉隆 (機械科主任 (全日制))
- 山田 成仙 (電気科主任 (全日制))
- 吉永 伸裕 (地域みらい留学担当)
- 馬場 美帆 (事務担当)

※ 学校運営協議会については、全日制・定時制合同で設置する。

※ SAGA コラボレーション・スクール (SCS) 重点校指定は、全日制が対象である。